

又ハ出羽ハ东山后の国よて二郡ハ北ハ出
越ハ山北と云ーもや、近年開板の古用集
一山北を郡教よ入さる事三代実録よ叶ハ
皇但東鑑十卷文治元年正月の条下ー出
羽國山北郡とあり、又千禧山北を阿ー當
年被地の古人より來日文ハ仙北平麻郡と
あり、又出羽郡今の田川郡となりぬ、事
三代実録よ分明なれハ郡教より除き延
表式のこく上管十一郡と云ー（さ事）もや
日本事跡考曰出羽國出勢鳥鷹羽故名、毎歳貢之鍛以為箭括
あり

一出羽郡府

蕨氏演義曰府者聚也言聚所在圖簿籍書之處
風俗通曰公卿牧守通德之所聚也唐始以州郡為府

按さるに當郡ハ田川郡の先名もや、上古ハ

越後の国なり、越後の北陸道七ヶ國一屬

とリ、日本書記曰十代 宗神天皇十年

丙戌朔以大彥命遣北陸武渟川別遣東

海云々是山陸小王化を施し、あふ始なりふ

や、同十二年 景行天皇二十五年秋七

月庚辰朔壬午遣武内宿禰令察北陸及

東方諸国之地形且百姓消息云々、名稱

尚ほ（下向）あふ事ハ羽鳥のの田記も